



発行：豊島区都市計画課

電話03-3981-2613(直通)

まちづくりの区域の考え方などについて話合いました

〈全体まちづくり検討会の様子〉

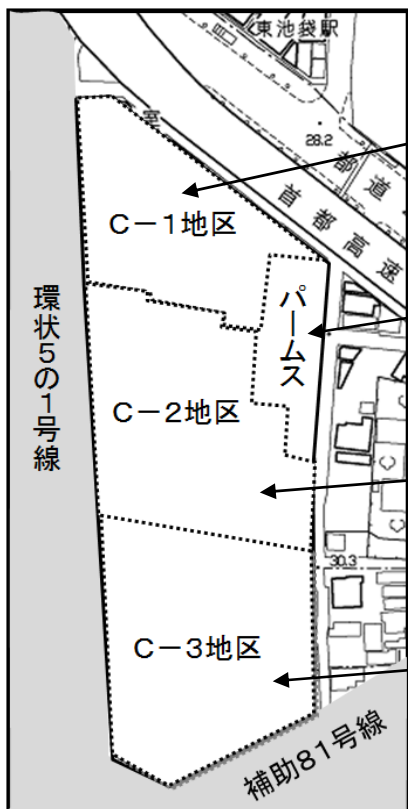
平成25年11月1日(金)午後7時から、第8回全体まちづくり検討会を開催し、23名の方々にご参加いただきました。

検討会では、前回に引き続き、まちづくりの区域の考え方について意見交換を行いました。



◆各地区の地権者による任意のまちづくり組織

南池袋二丁目C地区



C1地区市街地再開発準備組合

パームス東池袋まちづくり協議会

C2地区市街地再開発準備組合

南ゾーンまちづくり協議会

◆参加者の主なご意見

- 前回の検討会でC2市街地再開発準備組合から、「C1・C2・パームスの区域でまちづくりを検討することを決定した」と伺ったが、検討を開始するならば、まずはC1やパームスの地権者にも話をしていただきたかった。(C1地権者)
- まちづくりの完成が早まるならば、区域を広げる検討をすることは可能である。(C1地権者)
- パームスは、立地の特性上、再開発を想定したまちづくりは、他のゾーンと一緒に区域でないと検討できないので区域の検討の議論には参加したい。(パームス権利者)
- まちづくりの完成を早めたいというのは同じ意見。そうなるように豊島区が地権者のまちづくりをフォローしてほしい。(C2地権者)
- 豊島区はいつまでC地区全体と言い続けるのか。(C2地権者)
- また、区域の話とは別にC地区全体のまちをどうするべきなのかは皆で話合わないといけない。(C1地権者)
- 生活利便施設や高齢者施設等の導入を考えると、より広い区域、C地区全体を区域とするのが良いと思っている。(南ゾーン地権者)
- 身の回りの買い物について、これから住人が一気に増えるこの地区のことを考えると、近くにスーパー等があった方が良いという意見をよく聞く。以前のワークショップでは、子育て・高齢者施設の話もしていたが、いつの間にかそういった議論が消えてしまった。(C1地権者)

(豊島区)

- 豊島区は地権者が進めようとするまちづくりを否定していない。ただし、50年先、100年先のため、どういうまちづくりが適切かについて考えないといけない。そういう視点で、理想的なまちづくりとしてC地区全体区域のまちづくりが良いと思っている。
- 仮に、パームスの意向がまちづくりに参加したいということになれば、その考えを大事にしなければならない。これまでの検討の熟度の差はあるだろうが、隣接するゾーンにはパームスの意向を踏まえたまちづくりを検討してほしい。
- 次回は、あらためて、まちづくり区域の考え方について議論したい。

次回

- ・次回のC地区全体まちづくり検討会は、新年（平成26年）の開催を予定しています。
- ・ご案内につきましては、別途お知らせいたします。

全体検討会は、C地区の全地権者を対象とした自由な意見交換の場ですので、皆様のご参加をお待ちしています。

【お問い合わせ】 豊島区都市整備部都市計画課拠点まちづくりグループ 小黒・木戸
TEL：03-3981-2613 FAX：03-5950-0803
E-mail:A0022603@city.toshima.lg.jp
